

独立行政法人地域医療機能推進機構

# JCHO 登別病院通信

Japan  
Community  
Health care  
Organization

発行日 2019年5月

NO.7



独立行政法人 地域医療機能推進機構登別病院 完成予想図（令和2年4月 開院予定）  
住所：登別市登別東町3丁目

## 今月号の内容

- 院長のご挨拶 新年度を迎えて
- 入職のご挨拶 昇任のご挨拶
- JCHO登別病院のご案内 ● 編集後記



## 新年度を迎えて



院長  
伊藤美夫



新元号が令和に決まりました。この元号は歴史上初めて日本の古典の万葉集から引用されたもので、人々が心を寄せ合う中で文化が育つ、という思いが込められているとのこと。全国世論調査でも好感度が高いとの結果が出ており、国民の受け入れ状況は良さそうです。JCHOも創設以来5年が経過し、今年度から新たな中期計画がスタートしました。現在建築中のJCHO登別新病院も来年4月に開院予定です。少し大げさですが今年は時代、JCHO、登別病院など世の中が大きく変わろうとしている感じがいたします。

当院は現在、令和2年4月を目途にJR登別駅近郊への移転立替に向けて病院の建築が進行中です。開院以来70年以上続いた現在の温泉地での診療は今年度で終了となります。これから新病院への準備に本格的に取り組む予定です。新しい医療機器の購入、電子カルテの導入など大きな課題がたくさんあります。さらに引越しの準備も始まります。今年は多くの作業があり、タイトなスケジュールとなっています。この移転については登別市民だけではなく、白老の住民からも歓迎されて

います。JR登別駅周辺の再開発につながるものと登別市、商工会議所など各方面からも期待されております。

一方、新専門医制度が開始され地方病院では医師確保がますます困難になり、さらに看護師確保も難しくなってきました。また10月から消費税が10%に増税されます。診療、経営などの両面から地域医療の現状は今まで以上に厳しくなってきました。地域医療最前線の病院が孤立無援とならないよう各方面からの支援、制度の改革などに期待しております。当院が地域医療の要の病院として皆様の期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。



### 細川 泰伸 | 理学療法士

北海道千歳リハビリテーション学院を卒業し4月1日より入職しました、理学療法士の細川泰伸です。社会人1年目ということで社会経験が少なく至らぬ点多々あるかと思いますが、少しでも早く業務を行えるよう日々精進していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

### 山村 純人 | 理学療法士

今年度4月よりリハビリテーション室に配属されました理学療法士の山村純人（すみと）です。北海道文教大学を卒業し、社会人1年目です。不慣れな部分が多く、ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、周りから信頼されるような理学療法士を目指し、頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

### 吉田 龍樹 | 理学療法士

3月に北海道文教大学を卒業し、4月より入職しました吉田龍樹（りゅうき）です。新社会人としても医療人としても未熟でご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが早く病院に貢献していけるように日々努力していきますのでご指導宜しくお願いします。

### 堀切 元気 | 理学療法士

3月より、理学療法士として入職させて頂いております堀切元気です。理学療法士になり7年目ですが、1年目のつもりで心機一転頑張っていきたいと思っています。登別病院に入職する前は愛知県の方で働いていました。その経験も生かし、患者様や地域に貢献できるよう励んでいきたいと思っています。宜しくお願い致します。



### 久末 行人 | 理学療法士

2019年4月1日より、リハビリテーション室に作業療法士として入職した久末と申します。前職は道外でスマートフォンなどの開発を行う、システムエンジニアの仕事をしておりました。まだ入職から1週間で、先輩方に付いて回り、緊張しつつも仕事を懸命に覚えようとしている日々です。

JCHO登別病院のリハビリテーション室は、前身の厚生年金病院時代も含めて非常に長い歴史と伝統を持った部署です。諸先輩方のこれまでの努力や功績に恥じぬような職員となる事が出来るよう、日々精進を重ねて参る所存です。皆様のご指導を賜りたく、お願い申し上げます。

### 槌賀 満基子 | 作業療法士

初めまして。4月1日より作業療法士として勤務させて頂いておられます、槌賀満基子と申します。なかなか聞きなれない名字でしょうか？「つちが」と読みます。社会人経験は丸10年になりますが、うち9年は精神科の作業療法士として働いてきました。身体障害領域での勤務は昨年度1年間のみで、経験や知識が乏しく、さらに緊張しいで人見知りな性格故、ご迷惑をかけてしまうこともあるかと思いますが、一日でも早く仕事や環境に慣れ、患者様の生活を支える医療者の一員として活躍できるよう努力してまいりますので、ご指導よろしくお願い致します。



看護師  
上 島 真奈美

今年の三月に看護学校を卒業し、四月からJCHO登別病院で看護師として働かせていただくことになりました、上島真奈美です。ずっと憧れていた看護師になったのだということが嬉しい反面、これから看護師として働いていくという実感がまだわきません。しかし、学生の頃とはまた違う病棟の新鮮さがあり、そういった時にふと自分は看護師になったのだという自覚が出てきます。いろんなことが初めてでわからないことの方が多く、たくさんの方へご迷惑をおかけしてしまいますが、早く業務を覚えて、看護チームの一員として患者さんと関わっていきたいと思います。そのために、学校で習ったことだけでなく、これからも日々学習を重ね、精一杯頑張りたいと思いますので、これからよろしくお願い致します。



看護師  
西 川 可菜実

4月から回復期病棟に配属となりました、看護師の西川です。今までは療養病棟勤務でしたので、回復期病棟に配属となり、高齢者の患者様が多い中でも、退院に向けて前向きな取り組みがされているということが、とても印象的でありました。また、多職種が協力して患者様それぞれの生活に合わせた退院支援を行う姿勢が魅力的だと感じております。私も1日も早く業務に慣れ、患者様に寄り添った看護ができるよう努力していきたいと思います。

登別の地は私の生まれ育った町であるので、登別市民として身近な地域で働けることを嬉しく思います。仕事と家庭、趣味との両立を目標に日々努めて参りたいと思いますのでこれからどうぞよろしくお願い致します。



居宅介護支援センター  
金 山 香 織

この度4月より、JCHO登別病院附属居宅介護支援センターでケアマネジャーとして勤務させていただくこととなりました、金山香織と申します。

前職は地域包括支援センター、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホームのケアマネジャーとして勤務しておりました。

包括、小規模では地域の方々やご家族と関わらせていただき、「住み慣れた地域や自宅でその人の暮らしを支える」ということと、有料老人ホームでは施設の中でその人らしく過ごせるよう「各部署と連携しチームとして支える」など様々な学びを得ることができました。

介護保険サービスには限りもありませんが、地域にある資源を組み合わせて、時には地域住民の方々や民生委員さんと協力、連携しながら在宅で暮らす方をサポートしていきたいと考えております。

私は居宅介護支援センターでの勤務は初めてで不安もありますが、これまでの経験を生かし一日も早く業務に慣れ、居宅介護支援センターのケアマネジャーとして尽力して参りますのでご指導の程よろしくお願い致します。



経理係長  
岸 本 真 吾

皆さん。初めまして。今年4月からJCHO北海道病院から人事異動でこちらに勤務する事になりました経理係長の岸本です。

同じJCHO病院組織でも、院内の組織体制や業務の流れが異なり、とても新鮮に感じています。

現在、登別病院は移転建て替えの工事中で来年には完成し、令和2年に移転計画となっています。

『病院移転建て替え』と、病院の歴史の上で大きなターニングポイントの中で働けるのは貴重な経験になると考えますし、建て替え工事も含め、少しでも以前の勤務先の経験が活かせる事ができ、皆さんのお役に立てればと思います。

まだまだ、未熟ではありますがよろしくお願いします。



総務係長  
後 藤 学

JCHO北海道病院より登別病院に着任しました後藤と申します。平成15年から平成28年3月まで当院におりましたので、3年ぶりの復帰となります。

前任地では3年間勤務し、診療情報管理室や医事課に配属され、DPCと呼ばれる診断群分類を使用した包括払い（当院の急性期病棟は出来払い方式です）に関する業務を主にしておりました。

当院では総務企画課に配属となり、職員の人事・給与をはじめ、総務全般の業務を命じられております。また、来年4月頃を目処とした病院移転に向けての作業が今後多くを占めることとなります。無事に移転の日を迎えるべく準備を進め、今以上に皆様から愛される病院を作っていきたいと思っておりますので、今後共当院をよろしくお願いいたします。



一般職員  
佐 藤 駿 一

4月1日より事務職員として登別病院に採用になりました佐藤駿一です。出身は千歳市で採用にあわせて登別へとやってきました。学生時代は札幌の北海学園大学で、法学部に通い政治の勉強をしていました。病院という場所は、これまでは、あまり関わる機会がなかったため、病院で働くということに、不安と緊張を感じています。配属された医事課は部署の中の人たちだけで業務がおわらないことも多く、色々な病棟や科の医師や看護師の方とも顔を合わせる機会が多いため、少しでも早く仕事をこなせるようになり、顔と名前を覚えていただけるように頑張ります。社会人として仕事をしていくのと同時に、独り暮らしを始め、公私共に慣れない事ばかりで環境の変化にまだ適応できない部分も多く、周りがよく見えておらず、迷惑等をお掛けしています。こんな未熟者の私ですが、時に厳しく、時に優しく至らない点をご指摘いただけたら幸いです。よろしくお願いします。

## 昇任のごあいさつ



薬剤部長  
阿保信義

このたび2019年4月1日をもちまして薬剤部長を拝命いたしました。これまで以上に重責を感じ、日々精進していく所存です。

登別病院へは、2017年より副薬剤科長として赴任し、2年が経過いたしました。薬剤部の仕事にも慣れ、今後はますます気を引き締めていかなければと考えています。

本年度は、いよいよ来年に迫った登別東町への移転、電子カルテシステム導入が、まさに待ったなしの状態になっており、また新たな目標として、栄養サポートチームへの参画、服薬指導の充実が挙げられています。これらの目標に対し、薬剤部3名の力を結集して、望んでいく所存です。

新生薬剤部が、どの程度力を発揮できるかは、未知数な部分もあります。また、院内の職員の皆様のご協力がなければ、成しえない業務も、多々あると思います。皆様とともに、登別病院、地域医療をより良いものとしていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。



事務長補佐(総務企画)  
越野敬

新しい元号『令和』が始まります。

そして、新病院も1年もたたないうちに完成します。

新しい病院もだんだんとその姿を現してきています、これから電子カルテの導入、備品の購入、引越し等いろいろ大変ですがみんなで協力して頑張りましょう、これからもよろしくお願いいたします。

『令和』の時代がみなさんにとっていい時代になりますように。



経営企画係長  
佐藤正卓

今年度より総務企画課経営企画係長となりました佐藤です。

前職では医事業務（入院患者様の入院費の計算や施設基準の届出や介護サービスの請求事務等）をしておりました。

この度、経営企画係という役職となりましたので今後は長年医事業務で培ってきた知識を今後の病院経営に少しでもお役に立つように努力していきたいと思っております。

皆様には相談やお願い事などいろいろと前職ではお世話になりましたが、今後は今まで以上に相談などする機会が増えるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

# JCHO 登別病院のご案内

診療受付時間 8時30分～11時30分  
 診療開始時間 9時（脳神経内科9時30分）～

## ●外来診療担当医

		月	火	水	木	金
整形外科	午前	オザワケイイチ 小澤慶一 エザキカツキ 江崎克樹	オザワケイイチ 小澤慶一 タシロエイジ 田代英慈	エザキカツキ 江崎克樹 タシロエイジ 田代英慈 シライシ 白石さくら	オザワケイイチ (予約 10時迄) 小澤慶一 シライシ 白石さくら	エザキカツキ 江崎克樹 タシロエイジ 田代英慈 シライシ 白石さくら
	午後			出張医		
外科	午前					
	午後					
内科	午前	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ツカハラダイスケ 塚原大輔	ヨコヤマトヨハル 横山豊治
	午後					
脳神経内科	午前	ヨコカワカズキ 横川和樹			イケダカズナ 池田和奈 ヒロセフミヨ 廣瀬文吾	
	午後					
ペイン クリニック	午前		カマタノリコ 鎌田紀子 ※(第2・第4)			
	午後					
泌尿器科	午前				出張医	
	午後					
健診センター	午前	イトウヨシオ 伊藤美夫	イトウヨシオ 伊藤美夫	イトウヨシオ 伊藤美夫	ヨコヤマトヨハル 横山豊治	ナイカ セイケイゲ カ 内科・整形外科
	午後		胃カメラ	胃カメラ	婦人科健診(毎月最終)	

●診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。

## ※お知らせ

ペインクリニックは、9月30日をもって診療を終了いたします。  
 診察は、再診のみとさせていただきます。

## 編集後記

皆様からのご協力をいただき第7号の広報誌を無事に発行することができました。ご協力頂いた皆様に深く感謝いたします。新年度を迎え、更に充実した広報誌にしていきたいと思っておりますので、今後とも広報委員会をよろしくお願いいたします。



### <各交通機関>

- JR登別駅下車(特急列車停車)登別温泉行きバス病院前下車徒歩2分)
- 札幌-登別温泉高速バス病院前下車徒歩2分)
- 道央自動車道:登別東インターより7分



独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院

〒059-0598 登別市登別温泉町133番地

TEL(0143)84-2165 FAX(0143)84-3206

<http://nobaribetsu.jcho.go.jp>

[main@nobaribetsu.jcho.go.jp](mailto:main@nobaribetsu.jcho.go.jp)

出版責任者 院長 伊藤美夫  
 編集長 事務長 山田俊幸